



ほうしゅそんゆうずうおんまもり 寶珠尊融通御守について

寶珠尊融通御守は弘法大師が貧苦の衆生を救うために、中国よりお伝えになった秘法です。その発祥はインドにまでさかのぼります。寶珠尊融通御守は、靈驗あらたかにして金銀財宝を融通し、出世開運、心身ともに豊かな人生が送れるように御守護りくださる、不思議な御利益があります。当寺は、寶珠尊融通御守を、京都「福勝寺」より分身戴いた神戸では唯一の授与処です。寶珠尊融通御守は、寒中に七日間二十一座、一つ一つを加持祈禱（おいのり）してあります。

瓢箪守護（ひょうたんまもり）は、神棚・仏壇・床の間その他きれいな所に御厨子（おずし）に入れておまつりして、傷つけないように注意してください。お供えは、初水・花・線香・洗米・燈明・大根・酒・菓子・赤飯・餅・果物・塩などを上げてください。縁日は一日と十六日です。

日々は、瓢箪守護の代わりに肌守護（はだまもり）を身につけてください。商売の取引や交渉事・受験・面接・縁談などには御厨子守護（おせんすまもり）を懐にお持ちください。御厨子守護は決して開いてはいけません。福種銭（ふくたねせん）は商売などの資金に加えて使ってください。

御守護（おまもり）は、一年間の御祈禱ですので、次の節分には御受け替えしてください。



寶珠尊融通御守の拝み方

一、三礼

いっしんきみようちょうらいだいしょうかんぎによいほうじゅそん

一 心帰命頂礼大聖歡喜如意寶珠尊

三返

二、法施

般若心經・觀音經・光明真言・大師宝号など随意。

三、大日真言

おんあびらうんきやん ばざらだとばん

七返

四、十一面觀音真言

おんまかきやろにきや そわか

二十一返または百返

五、如意寶珠尊真言

おんあらたんのう まに ばざら たらく

七返

心呪

おんきりくぎやくうん そわか

二十一返または百返または千返

六、毎朝神仏礼拝の後、福德円満（おねがいごと）を祈念してください。

ひょうじゅそんゆう

融通尊寺